

令和7年度 11月定例会会議録

- ◎開催日時 令和7年11月26日(水) 午後1時30分～午後3時15分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 福興教育長、北原教育長職務代理者、黒河内教育委員、宮坂教育委員、中村教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 高嶋教育次長、唐澤学校教育課長、矢澤教育環境整備課長、柴生涯学習課長、北澤市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、高嶋指導主事、村松こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長
北原教育総務係長、竹松教育コーディネーター

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・11月もあと数日で、朝夕冷え込みがある。インフルエンザの罹患者も増えているとの報告を受けている。
- ・社会教育関係者懇談会、キャリアフェス、ご参加をいただき感謝申し上げます。
- ・本日は、社会教育委員との懇談会も予定されている。長丁場であるが、よろしく願いしたい。

3 委員の一言 中村委員

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・主に4つの事項について報告したい。
- ・11月5日は、高遠城跡南曲輪でかつて庭園があった場所の試掘現場を視察した。かつての庭園の名残があればと思ったが、ゴミがいっぱいであり、お花見の影響が考えられる。桜の木の根が横に広がっている状況に驚いた。試掘が進んでいるが、市民の方にも様子を知ってもらいたい。広報等、説明ができればよいと思う。
- ・11月12日は竜北保育園を来訪。園庭を縦横無尽に遊びまわる姿があり、子どもが寄ってきてくれた。小学校1年生になるとき、保育園の次の日からというのはギャップがある。幼保小の接続ということが必要であり、考えていきたい。連携会議の中でも話題にしていくことが大事と思う。
- ・11月20日は、キャリアフェスがあった。中学2年生、伊那養護学校の600名が集り、90近いブースが出展した。インフルエンザが流行り始め、実行委員も全員は出席できず、市の担当者も罹患する状況であった。予定通りにいかなかったが、役割分担をやり直すなどして対応し、良いフェスティバルになったと思う。大人になったときも予定通りいかないことが多いし、子ども達は良い経験になった。10年前の実行委員長が、今回大人になってブースを出展しているのを見て、重みを感じた。
- ・11月23日は、西野博之さんの講演会に参加。伊那市は、こどもの権利条約の制定を進めている。西野さんは川崎市の条例の制定に関わった方である。また、11月21日には県教育長による職員研修があった。「はじめに子どもありき」という伊那市の考え方と根本的には変わらない。権利条例を市民の理解を得ながら作成していくことが大事と考える。

第2 協議事項

- (1) 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

第3 報告事項

(1) InaWaku EDUtech2025 の開催報告について

- ・教育コーディネーター（教育環境課）から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

- ・教育長から「3分間の映像は、限定公開となっている。視聴を希望される場合は事務局まで連絡を」旨の発言があった。

(2) 伊那市海洋センター条例の一部改正について

(3) 伊那市海洋センター条例施行規則の一部を改正する規則について

- ・生涯学習課から(2)(3)について資料に基づき説明

「資料P13 開業日を訂正する。例規審査委員からの指摘があり、開業期間をできるだけ延長するため、4月1日から11月30日までに訂正する。」旨の説明があった。

- ・教育委員から「P19の料金規定について、2,000円を上限としているが、従前に比べかなり上がっているが、上限ということはもっと安くしても良いということか。」旨の質問があり、生涯学習課長から「今回は最高額を規定している。指定管理者の裁量で価格設置が可能であり、指定管理者と協議の上設定するが、2,000円を超えることはない。」旨の回答があった。

(4) 第34回信州伊那井月俳句大会小中学生の部 募集結果について

- ・生涯学習課からについて資料に基づき説明

- ・教育委員から「みずゞ俳句会が選者と思うが、表彰基準について、投句数に基づいて受賞数が決まっているように思うが、選者にその旨を依頼しているのか。」旨の質問があり、生涯学習課長から「学校が偏らないように応募数に応じて選ぶ旨の依頼している。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「今後であるが、良いものは良いという考えで、応募数によらないことも検討する必要があるのではないか。」旨の意見があり、生涯学習課長から「意見を参考にさせていただきたい。」旨の回答があった。

(5) 合併20年記念 未来を織りなす 伊那市小中高生美術作品展について

- ・生涯学習課から資料に基づき説明

- ・教育委員から「各学校6点となっているが、大きな学校小さな学校もある。表彰の都合もあるだろうが、多く応募していただくことはできないのか。良いものを多く集めたいと思う。また、来年合併20周年、連携して40年ということもあり、予算の関係はあると思うが、藝大の先生に関わっていただく等の対応はどうか。」旨の質問があり、生涯学習課長から「各学校の美術の先生と相談した中では、各学校6点、1学年1点ということになっているが、検討をしてみたい。藝大との件についても検討してみたい。」旨の回答があった。

(6) 人権同和教育事業について

- ・社会教育指導員から資料（広報誌「えがお」）に基づき説明

- ・教育長から「地域の方と学習について、地域の高齢化が進んでおり、次の方への引継ぎが課題と感じている。」旨の意見があった。

(7) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(8) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(9) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 その他

(1) 次回定例会について

(2) 1月以降の主な行事予定について

6 閉 会